

やまがら

2026年
新春号
No.61



やまがら (山家)

毎年、冬には自宅に来てくれます。

JR松山駅横には市民文化ホールを!! アリーナは松前町へ!!

- JR松山駅横には、松山市民に不可欠な市民会館文化ホールと市民が自習や読書等で過ごせる新しい居場所を造ろう!
- アリーナ建設は松前町でも、宿泊等の主要な経済効果は松山市にあります。
- 松山城城山崩壊事故 (3人死亡) 松山市は責任を認めて、被災者救済を行え!!

松山市議会議員
梶原ときよし
会派:新風会(市政監視を行う無所属3人)



発行・梶原ときよし

あなたが尊重される社会へ

変えなきゃ松山

市長も! 市議会も!

動かめ野志市政・監視を怠る議会に 喝!!

2025年12月議会
一般質問前文
梶原ときよし 12月9日

先日の参議院選挙では、物価高対策を含め、厳しい国民生活に対し何もやらない自公政権が大敗し崩壊しましたが、自民党政権延命に手を貸す維新に助けを借りて、誕生した高市政権は、大きく右に舵を切ってしまいました。

1972年に結んだ日中共同声明で台湾は中国の不可分の領土として認め、日中の国交を回復した。中国に反する言動だけでなく、中国に対する宣戦布告ともされる高市総理の発言が中国が強く反発しているのが現状です。

人口1億2000万人の日本が14億人の中国と戦争をするつもりなのでしょうか。

日本国憲法の前文には、日本国民は政府の行為によつて、再び戦争の惨禍が起こることのないようにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定するとあります。

高市総理は発言を撤回して、戦争を遂げなければならぬと言ふ事を申し上げ質問に入ります。

遅すぎる松山駅周辺整備

駅西口は、野ざらし駐輪場と砂漠化!!

予定より7年も遅れて、2024年9月に新JR松山駅は開業しましたが、駅周辺は砂漠化していると言われてるのが現状。県都松山の陸の玄関にはあまりにも情けなく、見苦しい状態です。

写真は2025年12月

※仮設駐輪場は屋根もなく、砂漠の中にある自転車の捨場のようです。新しい駐輪場は、何と早くても2027年5月の完成予定。遅すぎますネ!

- 1 権腐十年 権力は10年で腐敗する 変えなきゃ 野志市政は15年
- 2 松山城城山土砂崩れ死亡事故7ヶ月も放置。責任も取らず! 被災者住民の自己責任なのか 市民の命を守らない野志市政に喝!
- 3 遅すぎる松山駅周辺整備 全体像見えす砂漠化
- 4 10年前に決定していた 市民文化ホールを突然アリーナに変更
- 5 7年遅れて昨年新駅開業するも、駅西口駐輪場は野ざらし捨場の様相。



梶原支援を訴え、がっちり握手する小松正幸元愛媛大学学長(左)と梶原ときよし

梶原議員のさらなる活動に期待する

愛媛大学名誉教授 小松正幸

梶原さんの松山市議としての活動は今年で4期16年になります。

私は2期目の市議会選挙からその度に梶原さんに対して応援メッセージを送って来ました。そのワケは梶原さんが市議として綿密な調査に基づく市議員の不正や行政の怠慢を鋭く追及し、数々の実績を上げ、こうして「ぬるま湯」議会と市民軽視の行政に喝を入れてきたことを知ったからです。

言うまでもなく市民の信任を受けた市行政の第一の任務は市民の安全安心の暮らしを守ることです。それに照らせば死者3名、多数の被災者を出した城山崩壊災害に市行政者の責任がないわけがない、崩壊の原因究明はどうあれ、事故を防げなかったことが問題なのだ、と梶原議員は主張し、市長と担当者を追及しています。これって当たり前のことじゃありませんか? もしこういう議員がいなかったら、そういう議会は恐ろしいと思う。

松山市の行政は相変わらず「お上意識」が強い。このことは多くの人が認めることです。職員一人一人はいい人だと思いが、組織第一主義、年功序列、上下下達、前例踏襲という役所の昔ながらの組織文化が強すぎるのが問題で、そのため硬直した行政を変えることができないばかりか、仲間の不正を庇い、災害に際して役所の瑕疵を認めない、というあつてはならない暴挙を押し通す許し難い行政が出てくる。これを議会は黙認してしまうので、暴挙は何もなかったが如く罷り通ってしまう。梶原さんはこれが許せない。だから議会では強く鋭く市長、市担当者を追及する。これは梶原さんの正義感がなせる態です。

私は「梶原さんは正義の人だ」というメッセージを送ったことがあります(「やまがら」2014年新年号)。

この一節を再録します。

「梶原さんは正義の人である。不正、不条理を見逃すことができない性分だから、相手が誰であれ徹底的に追及する、お上をも恐れぬ市議会議員である。」

住民を思えばこそ、住民の代表であることを自覚すればこそできる、しなければならないことである。言うは易く行は難し。梶原さんは並の市議ではないのである。言うは易く行は難し。梶原さんは並の市議ではないのである。言うは易く行は難し。梶原さんは並の市議ではないのである。

梶原さんのモットーは「あなたが尊重される社会をつくる」こと、梶原さんのすべての活動は市民の立場に立ち、市民生活の安全と向上を第一に考えているのです。

松山市議には梶原さんは欠かせない存在だと思ふ。梶原さんには松山市政が住民第一に転換するまで今後何期も市議会議員を続けてほしい。

ことじやありませんか? もしこういう議員がいなかったら、そういう議会は恐ろしいと思う。

松山市の行政は相変わらず「お上意識」が強い。このことは多くの人が認めることです。職員一人一人はいい人だと思いが、組織第一主義、年功序列、上下下達、前例踏襲という役所の昔ながらの組織文化が強すぎるのが問題で、そのため硬直した行政を変えることができないばかりか、仲間の不正を庇い、災害に際して役所の瑕疵を認めない、というあつてはならない暴挙を押し通す許し難い行政が出てくる。これを議会は黙認してしまうので、暴挙は何もなかったが如く罷り通ってしまう。梶原さんはこれが許せない。だから議会では強く鋭く市長、市担当者を追及する。これは梶原さんの正義感がなせる態です。

私は「梶原さんは正義の人だ」というメッセージを送ったことがあります(「やまがら」2014年新年号)。

この一節を再録します。

「梶原さんは正義の人である。不正、不条理を見逃すことができない性分だから、相手が誰であれ徹底的に追及する、お上をも恐れぬ市議会議員である。」

住民を思えばこそ、住民の代表であることを自覚すればこそできる、しなければならないことである。言うは易く行は難し。梶原さんは並の市議ではないのである。言うは易く行は難し。梶原さんは並の市議ではないのである。

梶原さんのモットーは「あなたが尊重される社会をつくる」こと、梶原さんのすべての活動は市民の立場に立ち、市民生活の安全と向上を第一に考えているのです。

松山市議には梶原さんは欠かせない存在だと思ふ。梶原さんには松山市政が住民第一に転換するまで今後何期も市議会議員を続けてほしい。

梶原ときよし事務所

〒790-0813 松山市萱町2丁目1-2
TEL 089-947-2258
FAX 089-947-2259
E-mail sizenha-812@lib.e-catv.ne.jp

月～金 13:00～17:00 (土・日・祝日はお休みです)

お急ぎの方は携帯へご連絡ください。
080-5669-8586

梶原の活動報告をご覧ください。

梶原ときよし活動報告や全定例議会での質問登壇が動画でご覧いただけます。チャンネル登録をお願いします。

市政他、何でも相談をお受けしています。ご連絡ください。

市民のみなさまへ私決意

「一人ひとりが大切にされる人間尊重社会の実現」という理想を掲げ、私はこの15年半全ての市議会本会議に質問や討論で登壇し(本会議63議会連続登壇の記録更新中)、「まわり回ってではなく直接市民のためになる市政」へと転換させるべく努力を続けてまいりました。

また市議会報告通信「やまがら」を年4回の議会毎に配布して、市議会内外の活動を報告してきました。

教育(二人親家庭などの就学援助)や子育て支援(子ども医療費支援)にお金を使わない野志市政の予算編成(県内20市町村中最下位:全国48中核市中でも最下位)を厳しく追及して中学校卒業までの子ども医療費の無料化を実現させるとともに就学援助を2倍に増やしました。

また、常態化していた幹部職員によるカラ出張を糾し、民間企業ではあり得ない職員出張時における「領収証提出不要制度」を改善、領収証提出を義務化させました。

JR松山駅周辺開発においては、1時間に数本しか走らない予讃線には、必要性に乏しい鉄道高架事業に固執したため、工期は大幅に遅れ、土木業者や政治家だけが喜ぶ約600億円もの税金の無駄遣いをしただけでなく、計画より7年も遅れて2024年に完成した新しい駅舎は、旧駅舎の地盤より、1.8メートル低く設定したため、開業わずか1ヶ月で大雨により、床に浸水をしてしまいました。

さらに、松山駅車両基地跡地は、2015年当初から、音楽・芸術・文学・演劇・舞踊など情報文化の拠点を目標として、文化ホール建設を決定していたものを、昨年えひめ経済同友会からの提言を受けて、野志市長が突然アリーナに変更してしまいました。

10年以上にも及ぶ市民会館に代わる文化施設の建設を希望する市民の期待を裏切り、経済界の利権に迎合する政治をやめさせなければなりません。

皆様のご支援を心よりお願い致します。

松山市議会議員 梶原ときよし

着実な成果を出した16年間!!

市役所セクハラ事件の解明

市役所副部長による女性職員に対するセクハラ事件を追及し、実行者と隠蔽を図った部長を糾すとともに、加害者の処分を行なわせ市長に女性職員が安心して働ける職場にする約束を表明させた。

市役所敷地内・勤務中の全面禁煙を実施させた

受動喫煙対策の質問では理事者の抵抗を破り敷地内・勤務中の全面禁煙を実施させ、多くの非喫煙者から大歓迎を受けました。

行政証明書発行窓口の対応改善

都市整備部ではこれまで窓口での手数料支払いを受け付けず、銀行まで支払に行かされていたが2度わたる議会質問で、便利なカードでの窓口支払いを可能にさせた。

議会の活性化へ向けて前進

●セレニ一議案をやめさせるため、全議員の中でた一人理事者に議会質問全文の事前提出をせよとない回答を求め、緊張感ある質疑を展開

●議会質問における一問一答方式を導入(梶原の質問前回は28.4%から65%まで改善)

●定例議会の議員質問回数制限(年2回まで)を撤廃させ、全議会で毎回質問ができるようにさせた

●教育委員会等の同意人事において抱負を明記させるように変更

●女性の登用のない審議会をゼロにさせた

市行政に対する要望の実現(市内全域で活動しています)

●市所有施設への新電力導入をはかり年間3億円以上の税金の無駄遣いをやめさせた

●中学卒業までの子ども医療費の無料化を実現

●施工業者限定で失敗したリフォーム補助事業を新築時の大工さんや住宅メーカーにも頼める制度に変更させ、大工・建築業界に導く

●小中学校のトイレ洋式化を促進(梶原の質問前回は84校中39校、63校所もあったのをゼロにした)

●津波避難対策として市内に8000枚の海板表示標識を設置

●市道小野3号線(平井町・食場町)を開通(東部地区の利便性が増加)

●タウンミーティングでの司会をゼロから職員に変更させました(一回8万円の無駄な税金支出を削減)

●10年も続いた男だけの固定資産評価審査委員会に女性を登用

私決意

私に主体的に関わり、議会質問や日常生活で、実現に貢献したものを

- 警察への戸籍鑑本無断提供を大幅削減(これまで松山市は捜査に係の無数の戸籍鑑本等を市民に無断で警察に提供していた)
- 奥道後方面への道路標識を充実させ安全を確保、観光を活性化
- 湯の山団地内交差点全面改善を実現(安全な交差点に変更)
- 校庭にバクネットを設置し長年懸案の安全を確保(湯山小)
- 公園に大人の健康遊具の導入促進(ドイツでは主流)
- 市街地・区域地への課税免除策として、生産緑地制度の地区指定を告示させた
- 危険だった道路の補修と改良(朝日ヶ丘、東長戸、湯の山)
- 生活道路の拡幅(山越)
- 毎年大量発生していた害虫を抑制(賞町)
- 帰国子女の就学支援(日通)
- ガケ崩れ防止対策の実施(北条地区)
- 農業用水路の暗渠化で安全に(東市井)
- 農道の払い下げ相談を解決(市坪、竹原)
- 指定道路の舗装と下水道整備(古川、南保免)
- 市民の生活相談や日常生活
- 西日本豪雨災害では、農地や伊予柑山等の復旧を改善(姫原)
- 市道舗装、白線明示のやり替え、側溝補修・危険水路の安全ポール設置等の、市民の安全に関わることは即日対応
- 障害者福祉年金支援、生活保護支援、生活福祉支援等の行政支援を実行
- DVや親の教育放棄による被害を受けた女性や子どもの相談も解決

アリーナは松前町へ。

アリーナ建設は松前町でも、宿泊等の主要な経済効果は松山市にあります

松山城城山崩壊事故(3人死亡)

松山市は責任を認めて、被災者救済を行え!!

JR松山駅横には松山市民に不可欠な市民会館文化ホールと市民の新しい居場所を建設しよう。

孤軍奮闘!

16年間の実績

議会質問

梶原ときよし



12月議会
一般質問より抜粋

2025年
12月9日



JR 松山駅

遅すぎる。周辺整備!!

JR松山駅周辺の再開発が大幅に遅れているが、とりあえず新JR松山駅西口の駐輪場整備を急ぐべきではないか。

梶原議員の質問

計画より7年も遅れて、昨年の2024年に新しいJR松山駅の駅舎が完成したが、駅周辺は砂漠と化していると言われるほど、手つかずの状態が今も続いているように見える。とりわけ、西口の自転車置場には屋根がなく、土のままの地盤に自転車が放置されている現状は、京都の陸の玄関口である新JR松山駅にふさわしいとは言えない。あまりにも見苦しく情けない状態であるが、新駅開業と同時に西口利用者の駐輪場が完成していない理由を問う。

都市整備部長の答弁

JR松山駅周辺では様々な工事を並行して行っており、工事作業や資材搬入用のスペースなどを各関係者と調整しながら確保して進める必要があったことが、新駅舎の開業と、駐輪場の完成が同時期にならなかった理由です。

梶原議員の質問

現在計画中の高架下北側駐輪場576台分はいつごろ完成し、利用可能になるのか。また、この台数はJR松山駅利用者で必要とされる駐輪台数の何割に当たるのか、不足する台数の整備予定と併せて示せ。

都市整備部長の答弁

高架下北側駐輪場は、令和9年5月頃の供用開始を目指しています。また、事業開始前の駅周辺では、市営駐輪場の収容台数が1119台で、今回整備する台数はその約5割に当たります。次に不足台数は、周辺の土地利用によって、必要台数が異なってくることから、現時点では、お示しできません。

梶原議員の質問

心地のいい、まちの居間のような空間で、誰もが気軽に使える生活の場、集いの場、学びの場として利用できる施設が、今全国の自治体でつくられているが、とりわけ本市においては、中高生や大学生、社会人が利用できる学習スペースが不足している。本市における学習スペースの現状を示せ。

教育委員会事務局長の答弁

本市では、4か所の図書館で72席、青少年センターに56席、3か所の児童センターで77席、5か所の児童館で69席、男女共同参画推進センターに82席、まつまRe・再来館（リ・サイクル館）に24席の学習ができる席を設けています。

僅か380席しかない学習スペース。

梶原議員の質問

本市で学ぶ中高生や大学生の人数と学習室の利用を希望する人数に対応する学習スペースが圧倒的に不足する現状をどのように捉えているのか。

教育委員会事務局長の答弁

中高生は、令和7年5月1日現在で3万2359人、大学生は、各大学のホームページによると1万7407人です。アンケート調査でも「自習できるスペースがあればいい」との御意見をいただけてきましたので、既存の市有施設の中で自習に利用できるスペースを順次、増やしてきました。



本市の中高大学生5万人に対し、僅か380席しかない学習スペース。今、アリーナではなく、市民の学びの場、集いの場等、誰もが気軽に使えるまちの居間のような空間施設の充実が必要だ。

梶原議員の質問

このような本市の現状を捉え、民間業者による自習空間の提供が普及しているが、教育の機会均等を保障し、学びたい人が自由に学べる空間を本市として確保していくべきだと思うがどうか。

教育委員会事務局長の答弁

新たな施設を整備することは難しいと考えますが、引き続き、既存施設の有効活用などにより、更なるスペースの確保に努めるとともに、今後、既存施設の建て替えの際には、そうした市民のご意見も踏まえた施設となるよう取り組んでいきたいと考えています。

梶原議員の質問

JR松山駅周辺の再開発には、地域利便性施設として、まち全体の居間のように誰もが気軽に使える空間を整備していくべきだと思うがどうか。

教育委員会事務局長の答弁

駅周辺エリアの広場や施設に、テーブルやベンチを配置するなど、誰もが気軽に集まり、自由に本を読んだり、軽食をとったり、会話を弾ませるなど、心地よく過ごせる空間づくりを目指したいと考えています。

本市の一番の問題は、市長が開発の全体像を時期を含め明らかにしていない事であり、早急に具体的施設と完成時期を公表するべきではないでしょうか。

松山駅周辺地区車両基地跡地の利用については2015年当初から、情報文化を体験できる拠点を目指すとされており、予定どおりホールを建設するべきではないか。

梶原議員の質問

本市は2012年から2年間に及ぶ審議会での議論を経て、2015年に「音楽、芸術、文学、演劇、舞踊など、情報文化の拠点を目指す」と基本構想を発表し、2024年4月には、劇場型ホール2000席程度、多目的ホール800席程度と子ども関連施設を確保することを内容とする仕様で車両基地跡地広域交流拠点施設基本計画策定業務委託の発注まで終わっていたものを、その後愛媛経済同友会からの提言を受けて、アリーナの整備を発表した。基本構想に10年間一度もアリーナの字も出ていなかったものが、どうして突然選択肢として出てきたのか、そのプロセスを含め説明を求める。

交通拠点整備担当部長の答弁

昨年4月30日に、経済団体からの提言があったほか、Bリーグ誕生で全国各地に広がるアリーナ建設、それらによる都市間競争といった社会情勢の変化もありました。そこで、本市では、総合的に判断し、5000席以上のアリーナを整備し、（文化施設は）別途検討するとして基本計画を策定したものです。

総合的に判断したという中味に、市民の意見が入っていないのが問題である。

梶原議員の質問

市長がアリーナに転換すると決めた背景には、愛媛経済同友会の提言を貴重な意見として受け止めた9月議会で答弁したが、提言を受けた4月30日の段階では、既に施設の基本計画策定業務委託の仕様書を決定していたのに、なぜその状況を伝えなかったのか、それを伝えていたら、愛媛経済同友会も無理にはと言わなかったのではないかと思うがどうか。

交通拠点整備担当部長の答弁

整備方針は、基本構想を基に、関係団体へのヒアリング、パブリックコメントでの意見などを踏まえ、総合的に判断し、決定するものと考えています。

経済団体の提言は、経済波及効果が期待できるアリーナの整備を提言するものであり、貴重な意見として受け止め、検討することをお伝えしました。

10年以上前から文化情報施設の建設を決めていた事実を、「どうして経済団体に伝えなかったのか」と質問していますが、返事がありません。

梶原議員の質問

市長はこの10年間を含め、市民が市民会館に代わる文化施設の建設を望んでいると知りながら、アリーナにこだわる理由は何か。誰のためのアリーナ建設なのか。

発注の請負工事に対する制限などが存在する中、本市からの利益供与を疑われないように、また、市民の皆さんからその透明性に対する疑問を抱かれないようにしなければならぬことが指定管理者指定の絶対条件ではないでしょうか。

マスコミの二員でもある南海放送は「社会監視と政治権力チェック」をする立場にあり、「社会の公器」としての公正中立な立場を保つ使命があることは言うまでもありません。

本市からの受注で大きな利益を上げている南海放送が、元社員でもある野志市長の行う政治に対し十分な監視役を果たすことができないのではないかと懸念が残ります。

南海放送側関係団体が本市の事業を受注することで本市の御用マスコミにならないことを望みますが、その可能性を抑えるためにも、マスコミ関連会社への指定管理委託にはとても賛成できません。

南海放送側には、御社の社会的地位と立場を再考していただき、愚陀仏庵に係る指定管理者を辞退するべきではないかと申し上げ、私、梶原時義の反対討論とします。

庁内雑音のヒトコマ

職員A

城山崩壊事故の対応といい、JR松山駅周辺の再開発の遅さといい、行政は何をしているのと、市民の皆さんからよく叱られます。

職員B

市長の指示待ちで、何もしない幹部と幹部まかせの市政では、何も進むわけじゃない!!

はい。

JR松山駅周辺再開発ビジョンのトータルコーディネーターが存在しない現状では、同時進行は無理です。市長が突然アリーナを持ち出し、整備を遅らせるようでは、話になりません。開発全体を指揮できるのは誰なのでしょう。

梶原議員

梶原議員の質問

JR松山駅横には予定どおりホールを建設し、アリーナは松前町に建設してもらおうことがベストの選択だと思うが、野志市長は意地を張らず市民主権を守ってもらいたいと思うがどうか。

交通拠点整備担当部長の答弁

アリーナは、地域経済を活性化させることともに、松山の魅力向上や、若年層の都市圏流出を防ぐことにつながると考えていますので、今後も整備に向けて取り組んでいきます。

本市市民にとって、市民会館に代わる文化ホール建設は、差し迫った緊急の課題であり、あつたらしいいな施設のアリーナを優先する事はあつてはなりません。経済同友会言いなりの市政ではなく、市民が主役の市政への転換が必要だ。

マスコミでもある 愚陀仏庵指定管理者にまたも南海放送関連業者を指定 南海放送は指定を辞退すべきではないか!



議案第116号
令和7年11月28日提出
松山市長 野志克仁

松山市愚陀仏庵に係る指定管理者の指定について
松山市愚陀仏庵に係る指定管理者を次のとおり指定するものとする。

1. 施設の名称及び所在地	名 称	所 在 地
	松山市愚陀仏庵	松山市西四丁目

2. 指定管理者の名称及び所在地

名 称	所 在 地
松山市本町一丁目1番1号	松山市本町一丁目1番1号

代表者 大西 康司
代表団体 松山市本町一丁目1番1号
代表取締役 大西 康司
構成団体 松山市湊町四丁目7番地15
株式会社まちづくり松山
代表取締役 加戸 慎一

マスコミの使命と役割

「社会の監視と権力チェック」
権力（政治、行政、企業など）を監視し、隠された事実を明らかにする。
不正や問題を指摘し、社会改善を促す。

世論形成と公共性の維持

「社会の公器」として、公正中立な立場を保ち、民主主義の発達に寄与する。

梶原ときよし(新風会)

2010年の初当選以来4期16日目、全定例会議会63議会連続登壇を続けています。(松山市議会：連続登壇記録更新中)